

だいたいプラスチックごみゼロ宣言

安価で使いやすいプラスチックは、今や私たちの生活に欠かせないものです。その一方で、不用意に捨てられたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックがごみとして、河川などを通じて海へ流れ込むことにより、海の環境を損ない、また、細分化されたプラスチック（マイクロプラスチック）を海の生物が食べており、近年、生態系に与える影響が懸念されています。

大東市は、大阪府の東部に位置し、飯盛山と生駒山につながる金剛生駒山系にかけて広がり、山間部を源流とした「権現川」「谷田川」「鍋田川」「恩智川」「寝屋川」など多くの一級河川が市内を流れるなど、自然あふれる地域であり、また、新田開発とともに作られた水路の多くが今もなお残され、「大東八景」のひとつである御領水路は、大阪ミュージアム構想に登録されるなど、川や水路など水辺空間への親しみは大東市民にとって欠かすことの出来ないものです。

これらのかげがえのない財産を守り、未来の子どもたちに豊かな自然を残すため、地域住民をはじめ、多くのボランティアの方々が日頃より積極的に清掃活動を行っています。

大東市では、より一層のプラスチックごみの削減に取り組む必要があるとの認識のもと、市民・事業者・行政が連携し、海洋プラスチックごみ問題への正しい理解を深めるとともに、環境啓発事業や3R（リデュース【減量】、リユース【再使用】、リサイクル【再生】）にリフューズ【回避】を加えた4R運動を推進し「プラスチックごみゼロ」の実現のため、不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

令和元年6月11日

大東市長 東坂 浩一